

新党日本代表 田中康夫 質疑 2011/12/08(木) 15:38~15:43

第179回国会 (臨時国会) 東京電力福島原子力発電所事故に係る 両議員の議院運営委員会 事故調査委員会



さあ、信じられる日本へ。
新党日本
nippon-dream.com

○会長代理 (鶴保庸介君) 国民新党・新党日本
田中康夫君。

○委員外議員 (田中康夫君) 田中康夫です。

本日十二月八日は日米開戦から七十年。本委員
会発足に当たり、与党統一会派、国民新党・新党
日本を代表し、見解を述べます。

航空事故や列車事故は、一定の場所、一定の時
間、一定の社会グループに悲劇がとどまります。
原発事故は、社会的にも、地理的にも、時間的に
も、さらには陸上、海上、空中、地表、海中、海
中を問わず、被害が連続、拡大し続ける蓋然性が
極めて高く、範囲、濃度、蓄積のいずれも変幻自
在な放射能は無色、透明、無臭。人間の五感が察
知し得ぬ極めて厄介な存在です。

二十世紀は、科学を信じて技術を疑わずの無謬
性に立脚する物質主義でした。脱物質主義の二十
一世紀は、可謬性の視점에立ち、科学を用いて技

術を超える時代であるべきです。直ちに影響はな
い、すなわち今のところは大丈夫と当時の枝野幸
男官房長官は繰り返して、九カ月後の現在、今は既
に大丈夫である旨、細野豪志原子力行政担当大臣
も繰り返していています。

震災直後、政府は南相馬市の二十から三十キロ
圏の住民に自宅待機を命ずる一方、物資は自己調
達すべしと伝え、その後も、国が費用負担する避
難命令でなく、自己負担の自主避難要請にとどめ、
自力で避難し得る者に居住を認める緊急時避難準
備区域に指定しました。

さきの大戦の戦病死者は、その七割が栄養失調
による飢餓でした。かつて今も、国民の生命と
財産を守る上で大前提のロジスティック、兵たん
の発想が日本には欠落しています。

代表取締役の座にとどまる事業者、東京電力株
式会社の勝俣恒久会長も、再び黙して語らずです。

立法府が設けた本委員会は、政府、東京電力、
関係機関のリーダーに、事故発生以降、的確な認
識と決断、迅速な指示と行動、明確な責任と賠償
の哲学と気概が兼ね備わっていたか否か、的確、
迅速、明確な検証とあわせ、国民及び世界に対し、
放射能の加害国となった日本の今後のあり方を具
体的に指し示す使命を果たされんことを強く望み
ます。

百二十二年前、奈良県十津川村の十津川大水害
被災者は、北海道の空知平野に新十津川町を築き
ました。

メルトダウンを超えた東京電力福島第一原子力
発電所の周囲は、放射能に占領された領土と冷徹

にとらえるべきで、原発から少なくとも三十キロ
圏内は居住禁止区域に設定し、愛着を抱く郷里か
ら離れる当該住民には、国家が新たな住居と職業
を保障、提供すべき。これが、国民の生命と財産
を守る政治、立法府の責務です。

放射能汚染土壌の仮置き場を福島県内の国有林
に。同県内に設置する中間貯蔵施設も三十年間。
その後の最終処分場は県外設置を約束と政府は述
べていますが、最も年若い大臣の細野氏とて三十
年後は七十歳。大半の政治家は引退してしまっ
た。国有林内の保管物が雨水にまじり河川に流れ出た
ら、イタイイタイ病どころの話ではありません。

映画「一〇〇〇〇年後の安全」に登場するフ
インランドのオンカロもまだ建設中。イギリス
のセラフィールドも迷走中。今、この瞬間も排出
される放射性廃棄物の最終処分場が世界に存在し
ません。住民移住後の三十キロ圏を世界じゅうか
ら核廃棄物を受け入れる最終処分場としたなら、
これぞ最大最強の安全保障政策となります。

除染も、抜本的解決につながらず、再考すべき
です。語弊を恐れず申し上げれば、桜島の噴火が
終息しない中、鹿児島市内で愛車を水洗いしてい
る状況です。人海戦術で駆り出される無辜の住民
や自衛隊員が、内部被曝を起こさぬ保証はどこに
もありません。考えるアシタる私たちは、トンネ
ルじん肺やアスベストの悲劇から学ぶべきです。

さらに、除染した水はどこへ行くのか。海へ流
れ込んだら、水俣病を上回る惨劇です。

参議院議員から転身した福島県の佐藤雄平知事
は、人口が減少すると交付税も減少するから、疎

開や移転には反対である旨の発言をしています。
立法院に集う一人として、自戒を込め、問題先送りの空理空論を排し、今こそ立法院、いわゆる政治が機能せねばなりません。

放射能それ自体は偉大な発見ですが、科学を信じて技術を疑わぬ中で、人類は「フクシマ」の地にグレムリンを生み出してしまったのです。

黒川清委員長及び各委員におかれては、従来型のアームチェアの議論を超えた委員会として、新しい方程式を打ち立てられんことを要請し、国民新党・新党日本の発言を終わります。

ありがとうございます。(拍手)